



学校通信

つららん便り



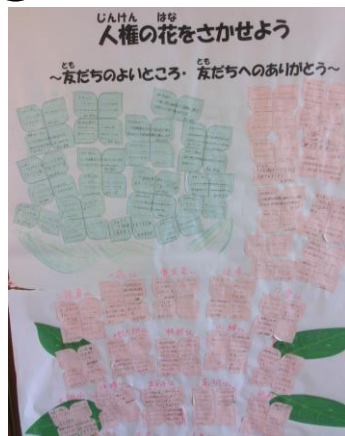
倉敷市立連島東小学校

第7号

令和6年6月22日

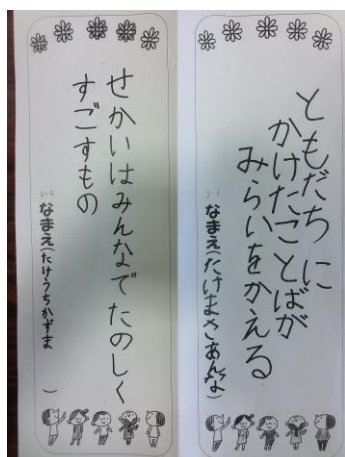
<http://www.kurashiki-oky.ed.jp/school/turajima-higashi-e/>

校内人権旬間



6月3日から14日まで校内人権旬間が行われました。人権旬間ではさまざまな取組が行われました。

参観日で見えていただけたと思いますが、あじさいに模したよいこと見付けの人権の花が各クラスに咲きました。人権標語を全員づくり、お昼の放送で、代表の人が発表をしました。また、人権に関する図書の紹介や司書の小林先生による読み聞かせや休み時間を利用して先生とお話する教育相談も行いました。みんなが笑顔で楽しい学校生活を送ることができるように、友達のよいところを見付けたり、言葉遣いや行動を振り返ったりすることでよりよい行動を実践してほしいものです。



朝礼では「心の扉」のお話をしました。心の扉には外から開ける「とつて」がついていないので、一度閉じてしまうと外から開けようとしても絶対に開きません。人が、固く心の扉を閉ざしてしまうのは意地悪されたり、仲間はずれにされたりして、人が信じられなくなったとき。でも、心の扉は内側から開くようになっていて、扉が開く様子は、ちょうどお日様の暖かさに草花が芽を出し、花が咲くのに似ています。植物にとってはお日様の暖かさは、人にとっては思いやりや、優しい言葉がそのかぎとなっています。

思いやりの気持ちや優しい言葉にふれすべての人の扉が開き、一人ひとりがありのままの心で輝くことができる太陽のような優しい言葉があふれるそんな連島東小学校にしていきたいと思います。ということを伝えました。

また、11日の音楽朝礼では、今月の歌として歌ってきた「世界が一つになるまで」を5・6年生が発表しました。休み時間も練習を繰り返し、全員合奏での



演奏は、音楽発表会で演奏してもよいくらいの演奏を披露することができました。すてきな合奏を伴奏にして、体育館に美しい歌声が響きました。全校の心が一つになる最高の時間となりました。

これらの取組を通して、一人ひとりの人権感覚が育ち、よりよい友だち関係づくりにつながるとともに、さらに笑顔があふれる連島東小学校にしていきたいです。

